



昨年11月5～6日に高砂市民病院にて、看護師の夜間勤務の実態を把握するべく実際に夜勤の体験をさせて頂きました。昼夜を問わず私たちの生命を守って頂いている医療福祉職の皆さんに改めて敬意を表するとともに、救急対応など厳しい現状を学ばさせて頂きました

とも考えられます。その際には節水のご協力をよろしくお願致します。

「明るい未来」をめざして!

清和の心地よい日差しと若葉の芽吹きが春の陽気を誘う時節を迎えました。先の衆議院選挙により、高市政権は強固な基盤を築き、物価高対策や経済成長などに向けて国民も力強い政策推進力を求めています。一方で高支持率の裏には、不祥事や民意を無視した政権運営があれば世論が離反するリスクもはらむことを肝に銘じなければなりません。国債活用による財政悪化の懸念、投資と賃上げの好循環など差し迫る課題に対峙する今、始めの一手となる令和8年度予算の執行が注目を集めています。私共、地方議員として「希望ある明るい未来」をめざす高市首相を全身全霊で支える決意です。

政府は防災庁の設置に関する法案を閣議決定し、今年秋ごろの発足をめざして最終段階に入りました。首相をトップに専任の防災大臣を置く強力な司令塔機能を持ち、東京に本庁、全国2カ所に地方拠点が設けられる予定で、兵庫県も誘致を進めており、引き続き国に強く働きかけていきます。

全国で30年に一度と言われる深刻な少雨が続いています。一部で回復の兆しが見られますが予断を許さない状況で、本県も今から渇水対策を講じていかなければなりません。取水制限だけでなく、家庭や事業所の供給量を抑える給水制限が必要になることも考えられます。その際には節水のご協力をよろしくお願致します。

令和8年度 兵庫県当初予算を可決

総額 4兆5303億円 一般会計 400億円減

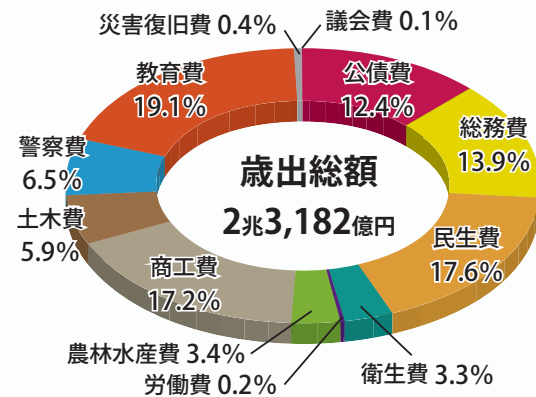
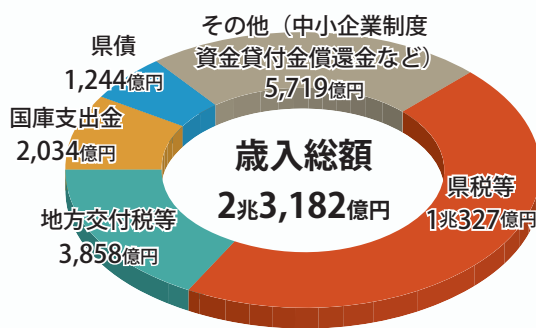
省エネ型農業など補正予算も

兵庫県議会はこのほど、暮らしを守り地域活力の底上げをめざす令和8年度の県当初予算を可決しました。酒米価格高騰への対策や省エネ型農業・漁業への転換支援などを盛り込んだ令和7年度補正予算も可決し執行しています。

新年度県予算は総額4兆5303億円。行政サービスの財源となる一般会計は2兆3182億円で前年度より400億円下回りました。

歳入を見ると、県税の収入は企業収益による法人関係税などが伸びて過去最高となる1兆327億円を見込み、国が割り当てる地方交付税等も3858億円と対前年度比で8.7%増加。歳出では人件費4942億円、行政経費1兆223億円となりました。

【一般会計歳入歳出の内訳】



土山交差点の渋滞解消へ 右折レーン工事着手!

県は令和8年度、JR土山駅北の土山交差点で渋滞解消に向けた工事に着手します。

県道宗佐土山線と国道2号、加古川市道が交わる交差点で、朝夕の渋滞が著しく、これまで近隣住民などから対策が求められていました。

特に交通量が多い県道と市道に右折レーンを新たに設け、歩行者の安全を確保するため歩道も整備。国道を含めた交差点内の再舗装も実施します。

財政赤字129億円「起債許可団体」に

県は令和8年度予算で129億円の赤字を見込み、今後3年間で延べ530億円の収支不足に陥るとの見方を発表しました。昨年に公表した同期間の収支不足額は160億円ですが、長期金利の大幅な上昇で県債の利

の説明です。金利上昇のリスク見通しが極めて甘かったと言えます。

収入に占める借金返済額の割合を示す実質公債費比率は、令和7年度決算で18%を超え、本県は8月から県債の発行に国の許

払い負担が激増し、赤字額は3.3倍に膨らんだと

可が必要となる「起債許可団体」に移行する見通しです。

しかし財政難であっても災害の備えや公共設備の老朽化対策、次世代支援など必要な政策を着実に進めねばなりません。県議会でも早急に対策を講じ、財政再建と未来への投資の両立に慎重を期して臨みます。

六甲バター 稲美工場跡地に**商業施設オープン予定!**

ファストフード店設置など要望

稲美町の六甲バター工場跡地に令和9年月上旬、商業施設がオープンする予定です。

六甲バター(株)が35年間の借地権を(株)マルアイに貸し出す契約で、すでに工場は撤去され開発が進んでいます。(株)マルアイは加古川市に本社を置く食品販売などのチェーンストア。今まで稲美町、播磨町の子ども食堂に社会福祉協議会を通じて食材を提供して頂いています。岡は商業施設の中にファストフード店の設置などを要望しています。



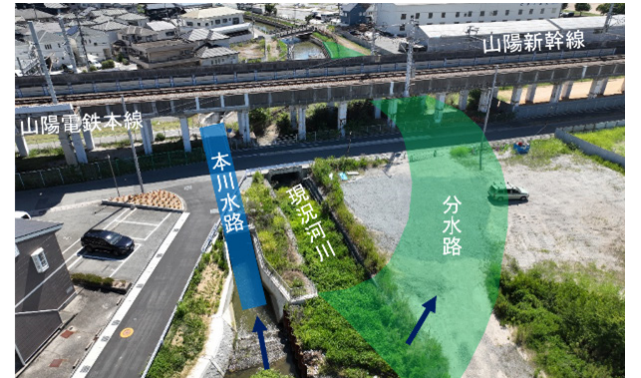
六甲バター稲美工場跡地

水田川の河川改修

播磨町と加古川市の境界付近を流れる水田川で、豪雨災害などに備える河川改修を最下流の別府川合流点から順次進めています。

山陽新幹線および山陽電鉄本線と交わる箇所は橋脚が妨げになっていることから、令和7年度に整備を完了した本川水路に加え、今後は分水路を整備して安全に流下させる工事を進める予定です。

分水路整備で安全流下へ



フォト・レポート



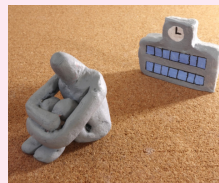
県立加古川医療センターにて病院フェスタが開催されました。地域の医療現場が体験できる貴重な1日となりました。写真は手術ロボットのhinotori (2月28日)

▶▶▶ R 8年度県当初予算の主な事業 ◀◀◀

小学校の不登校児童**支援員を拡充 全校配置へ**

不登校児童の増加が続く県内の小学校で、校内サポートルームを担う不登校児童生徒支援員を現行の2校に1人から拡充し、全校に配置します。なお、中学校はすでに各校1人が配置されています。

支援員は子ども一人ひとりに合った支援をする専門職で地域の人材を登用し、教員免許は不問です。



ナガエツルノゲイトウ対策! 防除、新手法実証など

地球上で最悪の侵略的植物と呼ばれるほど拡大力・再生力が強いナガエツルノゲイトウ。田んぼに繁茂すると収穫量が減少し、水路をふさいで水害リスクを高



めることから、河川・農地での防除やメンテナンスなど被害防止の対策を講じます。また、農業用水路などで新たな防除手法を実証するほか、環境DNA分析による早期発見、生育状況調査なども実施します。

プレミアム芸術デー 7月 子どもらに**体験**を提供

県内の美術館や博物館などを無料開放する今年の「ひょうごプレミアム芸術デー」(7月9日~15日)は、子どもから大人まで楽しめる無料イベントに加

え、芸術文化を直接体験する機会を提供。陶芸美術館(丹波篠山市)では小・中学生らが展覧会を企画する「夏のこども美術館」、ピッコロシアター(尼崎市)は劇団員の指導で中学生らが演劇作品を創作する「ティーンズワークショップ」を実施します。兵庫芸術文化センター管弦楽団の出張公演も予定。

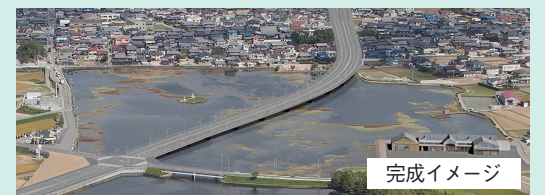
天満大池バイパス 早期完成めざす

天満大池を南北に貫く県道宗佐土山線の天満大池バイパス(全長960m)は、すでに橋脚など橋の下部工16基のうち10基が完成し、事業進捗率は約30%となっています。

宗佐土山線は道幅がせまく、歩行者や自転車の安全確保が課題だったことから、4車線道路で天満大池に架かる橋を建設するバイパス事業を平成27年度から着手。令和8年度はさらに橋脚1基の工事を進める予定です。



現状の天満大池(令和8年1月)



完成イメージ

岡つよしに
ご意見・ご要望を!

岡つよし事務所
〒675-1112
兵庫県加古郡稲美町六分一 770-3
☎ 080-4398-6173
E-mail: info@oka-tsuyoshi.com